

備前市事務事業評価表

事務事業名	訪問看護事業		コード	02-02-07-06
			担当課・係	訪問看護ステーション
			担当者	藤森勝一
事業実施期間	平成9年～			
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目(基本施策)	健やかで生き生きしたまちづくり		
	小項目(施策)	病院事業		

事業について	在宅療養者の家庭における療養生活を支援し、その心身の機能の維持回復を図る。	
目的 (何のために)	在宅療養者の家庭における療養生活を支援し、その心身の機能の維持回復を図る。	
対象 (誰・何を対象に)	疾病、負傷により居宅で継続して療養を受ける状態にある者で、主治医が訪問看護を必要と認められた者。また、介護保険の要支援・要介護認定を受けた者で、介護支援専門員が必要と認められた者。	
内容	病状の観察。医療的処置の実施及び指導。看護及び介護技術の実施と相談及び指導。栄養及び食事療法に関する相談及び指導。リハビリテーションの実施と相談及び指導。介護用品の紹介及び使用方法の指導。生活環境の調整及び指導。主治医への連絡調整及び報告。その他、医師の指示による処置及び介護に関する相談。	

事業の結果	17年度		18年度		回数など(単位)	
実施項目	回数など(単位)		回数など(単位)		回数など(単位)	
年間利用延人数	2,421 件		2,368 件			
	479 人		417 人			
	1,896 時間		1,938 時間			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	989	国庫補助金等		直接事業費	1,281	国庫補助金等	
	人件費	14,880	受益者負担	59	人件費	14,400	受益者負担	32
	合計	15,869	市債	15,810	合計	15,681	市債	15,649
			一般財源等				一般財源等	0

必要人員	3.15 人		3.15 人	
結果指標名	訪問看護サービス		訪問看護サービス	
結果指標量	2,421		2,368	
単位	件		件	
対前年比	-		97.81%	
活動にかかるコスト	15,869,000 円		15,681,000 円	
単位当たりコスト	6,555 円		6,622 円	
結果指標名	訪問看護サービス		訪問看護サービス	
結果指標量	1,896		1,938	
単位	時間		時間	
対前年比	-		102.22%	
活動にかかるコスト	15,869,000 円		15,681,000 円	
単位当たりコスト	8,370 円		8,091 円	

事業の成果	在宅療養者の心身の機能の維持回復を図るよう、訪問看護時間数を増加させる	
成果指標名	実訪問看護時間	式又は説明
		到達目標値 = 3時間(1日の実訪問看護時間) × 3人(看護師数) × 230日(平均勤務日数)
成果指標量	17年度 1,896	18年度 1,938
対前年比	-	102.22%
到達目標値	2,070	到達目標年度 19年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)	
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 介護保険法	妥当性評価 <A~E> C 課題認識
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	法に基づき事業を実施しているため、目的・対象者は明確である。また現在の当市の現状では、民間業者が少ないためやむを得ない。
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である		
効率性の評価	コストの効率化	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	効率性評価 <A~E> C 課題認識
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	利用者数は減少しているが、サービスに要する時間は増加しており、量の低下は招いていない。受益者負担額は法で定められているため検討の余地はない。手段についても、主治医の指示によるもので検討の余地ない。
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	有効性評価 <A~E> C 課題認識	
有効性の評価	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	民間の事業所が一箇所しかなく、行政が行っていく必要がある。
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	

平成19年度の状況		説明 単位当たりコストの削減に努める。
<input type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	
目標値 結果指標量 2,450時間 成果指標量 2,070時間	結果指標量 2,070時間	

総合評価	事業の目的・対象又は手段は、法律あるいは主治医の指示で定められており、評価の対象としては実訪問看護時間が妥当と思われる。より効率的にサービスを提供できるよう検討することにより成果の向上が見込まれる。単位当たりコストが増加傾向にあり、経費の節減にも努めなければならない。	評価区分 <A~E> C
------	--	--------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--	---------------------------------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	効率的(移動時間が短くてすむ)なサービス受給者の組み合わせを組む	随時	訪問看護サービス受給者の増加 収入の増加
効率性	経費の節減	随時	コストの削減